

## 2014年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法務研究科	身分	准教授
氏名	河谷 清文		
NAME	Kiyofumi KOUTANI		

## 1. 研究課題

(和文) 独占禁止法の体系的整合性に関する研究

(英文) The Consistency in the Legal Structure of the Anti-monopoly Act

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

日本における独占禁止法は、米国反トラスト法を基にして制定されたが、独自の発展を経ている。日米に共通する基本的な法システムを確認し、特色ある違いの生じている部分を検証するとともに、独占禁止法自体の整合性を確認しようとした研究である。

基本的な法思想、体系、条文構成、解釈論、実際の運用、手続き、制裁まで研究するよう計画したが、現時点ではそれらすべてを調査・研究し、結論を得るところまでは達していない。そこで、最も基本的な取引の自由、すなわち、取引を拒絶する自由と、それを禁止し取引をさせる法執行に限定し、比較法的な検討と、独占禁止法における自由と強制を検討することにした。

具体的には、エッセンシャル・ファシリティと呼ばれ、他の事業者がそれを供給してもらえなければ事業活動が困難となり、自分ではそれを用意することができない場合に、それを単独で取引を拒絶する行為を取り上げた。エッセンシャル・ファシリティ理論は、近年の反トラスト法判例により下火になっているが、その理論が提唱される以前からある判例法理論を再検証することによって、現在における意義を示した。また、我が国の独占禁止法においても、形を変えて現実的に運用可能であることを示すことができた。

(英文)

The anti-monopoly act in Japan was originated from the antitrust law in U.S. But the anti-monopoly act has developed independently in some parts. This research planed to confirm the common basics of legal systems in Japan and U.S., verify the different parts, and consider the consistency in the legal structure of the anti-monopoly act.

This research focused the essential facility that is very important to do business and the competitor can't continue the business if the owner of the essential facility refuse to sell it. The theory that the unilateral refusal to deal the essential facility shall be illegal in the antitrust law is unpopular now. But I reexamined traditional cases, and showed the way to use the essential facility in the antimonopoly act practically.

【注意事項】①記入された業績は、学事部企画課で研究者情報データベースに代理登録をします（大学公式ホームページの公開データとなります）

②業績データが多い場合や代理登録時に必要なデータが不足する場合は、学事部企画課より問い合わせをさせていただきます。

3. 研究成果について（研究期間終了後2年以内・予定のものを含めて記入）※記入欄が不足する場合は、適宜追加ください。

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題				
	執筆者				掲載誌名称			
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他（随筆等）			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題				
	執筆者				掲載誌名称			
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他（随筆等）			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題				
	執筆者				掲載誌名称			
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他（随筆等）			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

著書	発行年(西暦)・月	2017	年	2	月	著書題目	経済法の現代的課題 舟田正之先生古稀祝賀 論文集（予定）	
	出版社	有斐閣				区分	著書	
	種類	共著				担当頁数	～	
	著者名	河谷清文				共著者等氏名	金井貴嗣・土田和博・山部俊文・東條吉純編	

著書	発行年(西暦)・月	年	月	著書題目				
	出版社				区分	著書、訳書、その他		
	種類	著書、編集、編著書、共著、共編著、翻訳、その他			担当頁数	～		
	著者名				共著者等氏名			

口頭発表	発表年(西暦)・月	2016	年	12	月	会議名等	ネットワーク産業の規制と競争政策に関する研究会	
	種類	学会・研究会報告						
	発表題目	独禁法におけるエッセンシャル・ファシリティ 検討する意義とその供用方法について						